

# 聖愛

六月号  
原町聖愛保育園  
二〇〇六年 六月一日 発行

雨上がりの園庭に飛び出し、大喜びで泥遊びに熱中する子どもたち。友だちの輪もどんどん広がり、自分らしさを存分に出しながら楽しく過ごしています。衛生面や体調管理にも十分気を付け、梅雨を元気に過ごしたいです。

## ままごとで学ぶ

各保育室にはままごとコーナーがあり、年齢や男女を問わず人気の場所です。棚には木製の食器やご馳走に変わる木の実などが並び、布も数枚あります。布は体に巻いたり、物を包んだり、布団に見立てたりして使われます。未熟さや印象を響えるときに、「ままごとみたい」と言うことがあります。その言葉の響きには幼稚とか頼りないという印象を受けます。しかし、子どもにとっての「ままごと」真似事をする遊びは意味のある大事な遊びです。調理や育児などの家事の様子の再現には、そのことを見聞きして知っていなければできませんし、準備から片づけまでの一連した仕事には、見通しを持った行動が必要です。また、見立て使いなど創意工夫することや、友達と協調することも、遊びを面白く満足できるものにするためには重要です。年齢や経験によって、遊びの内容や表現の仕方、持続する時間は違います。一歳のころには、大人と一対一のやり取り遊び。次の段階では、友達と同じ場所にはいるが、自分の遊びをする並行遊び。成長とともに友達を誘い、決め事などを一緒に作って遊ぶ仲間遊びへと変わっていきます。そして、決めた約束事を守る子どもが、一緒に遊びを展開させて楽しさや喜びを共有します。室内外でよく行われるままごとですが、子どもたちの振る舞いを見ていると、大人がしていることを細かいことまで観察していることが分かります。(あるとき女の子が、片付けの最後に縫れたマットの端を足で直しました。以前、先生が両手に荷物を持ちながらやって見たのを見ていたようです。) 子どもたちはままごとをすることで、日常の仕事を改めて認識し、生活の仕方や工夫などいろいろ試しながら気づき、またやってみる。このようなことを繰り返しながら、自分のものにしていきます。

園長 遠藤美保子



6月の保育目標 主題 0. 1. 2歳児「みつけたよ」 3. 4. 5歳児「じっくりと」

暗唱聖句：あなたがたの上に聖霊が降りると、あなたがたは力を受ける。 使徒1:8

クラス	保育目標	保育内容	保育者の配慮
てんし	0歳児 ・保育者と共に体を動かし、心地よく過ごす。	・草花や土、砂に触れて遊ぶ。 ・外気浴 ・保育者の体を使って触れ合い遊び。 ・手を使う(出す・入れる・引っ張る)	○保育者が子どもと同じ体勢になって、動きを誘うようにする。 ○外気浴をしながら、土などを肌で触れ、その感触を体験出来るようにする。 ○心地よく生活するために、衣服や寝具の調整、休息、睡眠が十分にとれるように気を配る。
つぼみ	1歳児 ・保育者と一緒いろいろなものを見つけ、また感触遊びを楽しむ。	・ままごと・ボタンはめ・滑り台 ・小麦粉粘土(ちぎる・のぼす・握る) ・散歩(砂利道や坂道、草の上を歩く) ・体を動かす(ぶら下がる・渡る・跳ぶ)	○色々な素材に触れられるような遊びを提供し、その感触を楽しめるようにする。 ○やってみようとする思いを大切にしながら、危険がないように安全に十分配慮する。 ○室内外の温度や湿度に留意し、水分補給にも心掛け個々の健康管理に努める。
はな	2歳児 ・様々な事に興味や関心をしめし、よく見たり、触ってみたりする。 ・保育者の行動をみて真似し、楽しさをみつける。	・体を動かす(登る・降りる・段差跳び) ・指先を使った遊び(ピース通じ・糊つけ) ・紙をちぎる、丸める。	○「やってみよう」気持ちから「自分でできた」という満足の体験が多くできるように、保育者が援助し促す。 ○色々な素材に触れることが出来るように、素材を吟味して提供する。 ○体を使う楽しさが味わえるように、場所の広さや時間の配分などに工夫する。
ファミリ	3歳児 ・友だちと興味や関心をもった遊びに取り組む。	<室内遊び> ・丸機織り(つき)※1 ・はじき絵・短冊作り(全員)	※2 玩具の使い方があることを、保育者や年上児の行う姿を見て、知ることが出来るようにする。 ※3 年上児と一緒に遊び、やりとりや会話を楽しめるよう、友だち関係を見守る。
	4歳児 ・自分のしたいことを見つけ、夢中になって遊ぶ。	・コンテ、水彩画(つき・ほし)※5 ・ままごと遊び ※2 生活の再現や役割遊び ・ドールハウスお家ごっこ ※3 役になってのやりとり遊び	※2 遊びを通し、生活の方法、用具の扱い方、挨拶など年上児の様子を見て知り、保育者が仲介しなくとも、やりとりの楽しさが体験できるようにする。 ※3 役割を友だち同士で分担し、役になりきって遊びに満足できるようにする。 ※4 「やりたい」気持ちを引き出し、体を動かして遊ぶ体験が、たくさんできるようにする。年上児から教えてもらう機会を大切にする。
	5歳児 ・目的を知り、じっくりと取り組む。 ・試したり、考えたりしながらやってみる。	<戸外遊び>※4 ・鬼ごっこ 鉄棒(前回り) ・ブランコ 裸足で遊ぶ ・かけっこ ・太鼓橋	※1 自主的にコツコツ取り組めるよう、一人ひとりのペースを大事にする。出来上りを共感しあい、自信につながられるような関わりをする。 ※5 色の混ざり具合に興味を持ち、何度も試し、不思議さや色の美しさを体験できるようにする。 ※4 集団遊びに参加を促し、ルールを守って一緒に遊ぶ楽しさ、満足感や充実感が味わえるようにする。出来ないことにも挑戦する気持ちを大切にする。

◎6月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
2 (金)		乳児研修
3 (土)	保育参観・食育講話	
6 (火)	ペンテコステ礼拝	聖書研究「めぐみの会」
7 (水)	ぎょう虫卵検査・尿検査 子育てサークル (レインボーG)	職員会議
8 (木)	小人さんの音楽会	相双支部学習会 構造化会議
10 (土)	保護者会レク「ミニ運動会」	
13 (火)	花の日・子どもの日 長寿荘訪問 (つき組)	
14 (水)	子育てサークル (ブーさんG)	マネージャー会議 刊社教保育連盟研修会
15 (木)	ポップコーン (クラブ活動)	園内研修
16 (金)	歯科検診	
17 (土)	自然教室 (中山先生)	
19 (月)	しゃりん梅訪問 (ほし組)	職員健康診断(～23日)
20 (火)	合同礼拝・避難訓練	聖書研究「タントの会」
21 (水)	子育てサークル (レインボーG)	企画会議 保育専門研修会
22 (木)	小人さんの音楽会	
23 (金)	世代間交流事業「ちまき作り」	
26 (月)	お弁当の日	
28 (水)	しゃりん梅訪問 (ほし組)	給食会議
29 (木)	ポップコーン (クラブ活動)	育児不安支援

【保育参観・食育講話】 6月3日 (土) 全クラス

保育参観 : 9:00～10:30 各保育室  
食育講話 : 10:30～11:45 ホール



(園児は11時に給食)

降 園 : 12:00 (希望者は午後の保育もあります。)

【ペンテコステ礼拝】 6月6日 (火)

『ペンテコステ』は、「クリスマス」「イースター」に並ぶキリスト教の三大祭の一つで、イースターから数えて50日目にあたる日に祝われます。

「聖霊降臨日」といって、聖霊(神の大きく賢い力)が一人ひとりに降りた日です。神様の言葉が人々に力強く語られて、人々が集められ、この時が『教会』の始まりとなったのです。

神様の大きな愛は、今もなお一人ひとりの上に注がれています。この事を喜び感謝して、ほし・つき組は教会の礼拝堂でペンテコステ礼拝を守り、また小さいクラスでもこの日を記念して、各クラス毎にお祝いの礼拝を守ります。

前日には、ペンテコステのシンボルとされる、『ハト』を型どったクッキーをファミリークラスの子どもたちが作ります。

【自然教室】 6月17日 (土) 主催: 原町聖愛保育園保護者会

日 時 : 東ヶ丘公園・堤付近 9:00～11:30

講 師 : 中山 康夫氏

(野あそびのプロ集団「ろぜっとわーくす」の代表)

内 容 : 匂いおみくじ、形さがしビンゴ、野鳥の声で音楽会…

※詳しくは後日お知らせいたします。

○中山先生は、横浜市の野外活動研究所「森の幼稚園」の所長で、幼児の野あそびの研究・実践を行っている先生です。ぜひ、親子で参加して下さい。  
\*保育は、平常通りあります。



1



2



3



4



5

【世代間交流事業 ちまき作り】

6月23日 (金)

今年もちまき作りを通して、二見長栄会のおばあさんと触れ合いをもち、昔の話を聞いたり歌ったりしながら、楽しい時間を過ごします。また、園児の午後のおやつは、この「ちまき」をいただきます。

対 象 : ご近所のおばあさんとつき組 (5才児)  
場 所 : 保育園ホール



◎じっくりと・・・◎

目新しい様々なおもちゃ、次々と画面が変わるテレビやゲーム・・・子どもはいつも視覚的な刺激にあふれています。

現在、ファミリークラスの年齢に合わせた活動である『小人さんのお仕事』は、「自分で見通しを持ちながら、計画的に取り組む」ことをねらいとしています。

和紙を折って色水に浸し、色の混ざりを楽しむ『にじみ絵』は、やるたびに折り方を変えたり、色を選んだりしています。また、3、4歳児憧れの『機織り』は「ティッシュケースにしよう」「ふたのついたポシェットにしたい」と、出来上がりを想像しながら一人ひとりが「今日はこの辺まで頑張る!」と、目標や計画を立てて取り組んでいます。この手作業では、何かをやったり作ったりした物を次に活かすということも経験できるように考えています。

移り変わりの激しい時代だからこそ、一つのことに“じっくり”取り組む経験を多くさせてあげたいです。

◎世界環境デー◎

1972年6月5日に、スウェーデンのストックホルムで開かれた、「国連人間環境会議」を記念して定められました。この会議に日本からは「水俣病患者」の人達などが“生き証人”として、公害の恐ろしさを訴えました。

保育園では、二十数年前から散歩時には、周辺のゴミ拾いをしてきました。今では年齢の大きい子ども達は、遠くに落ちているゴミも気付いて進んで拾い、「どうして捨てるんだろうねー」という言葉が自然に出ます。この当たり前のことが守られていないのが、多くは大人ではないでしょうか。

一人ひとりが気をつけ、ルールを守ればゴミがなくなることを、今後も行動を通して、子ども達に伝えていきたいと考えています。

昨年からは職員も、年に数回エコ活動をしています。主に御本陣山のゴミ拾いですが、「川」のテーマにちなんで、4月30日に水無川で実施しました。わずか2時間で、ビニール類や空き缶、ビン等約30袋、それでも拾い切れず、他に自転車やタイヤなど大量のゴミが集まりました。

身近にある自然豊かな環境を、これから成長していく子ども達にきれいなままで残して行きたいと強く思いました。

◎川に行ってみよう◎

- 1 \*新田川上流=足首程度の深さで、水遊びには最高!!
- 2 \*新田川下流=すずり岩が素晴らしい。流れが速いので注意!
- 3 \*高の倉=水はほとんど無いが、小さな滝があります。
- 4 \*立石 (鹿島)=水は深い丸太橋があり、奥には鍾乳洞も…今の時期は新緑がとても綺麗です。
- 5 \*横川ダム奥=水の流れはほとんど無く、5才児くらいなら跳び込んで楽しめそう。

私たちの周りには、こんなに沢山の素晴らしい川があります。子ども達はみんな自然が大好き!ぜひ、行ってみてください。もっと詳しく知りたい方は、職員に聞いて下さい。